



平成19年10月17日

各位

会社名 日本精線株式会社
 代表者名 代表取締役社長 近藤 龍夫
 上場取引所 東証第一部、大証第一部
 コード番号 5659
 問い合わせ先 経理部長 若松 壮一

業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間期業績予想につきまして、平成19年5月11日発表の業績予想を下記の通り修正いたします。

1.平成20年3月期の中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)業績予想の修正

(金額単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	連結	15,100	1,820	1,820	1,100
	個別	13,900	1,620	1,630	960
前回発表予想(B)	連結	15,700	1,420	1,400	800
	個別	14,500	1,340	1,340	760
増減額((A) - (B))	連結	600	400	420	300
	個別	600	280	290	200
増減率(%)	連結	-3.8%	28.2%	30.0%	37.5%
	個別	-4.1%	20.9%	21.6%	26.3%

(ご参考)

前期実績	連結	12,653	1,247	1,276	752
(平成18年9月中間期)	個別	11,647	1,202	1,235	724

2.業績予想修正の理由

当中間期において、ステンレス鋼線の主原材料であるニッケルの市場価格は乱高下いたしました。当社グループは、原材料価格に見合った製品価格の実現や新製品の拡販に注力し、加えて金属繊維部門が引続きデジタル業界向け高機能樹脂分野が好調に推移したこと、さらにニッケル価格の上昇局面での棚卸資産の評価益等も寄与し、当初発表していた業績予想を上回る見通しとなったため、当中間期の業績予想を修正いたします。

なお、通期業績予想につきましては、主力のステンレス鋼線が足許のニッケル価格の急落の影響を受けておりますので、平成19年5月11日公表値を据え置くことといたします。

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上